

サポーターズタイムズ

Supporters Times



衆議院議員秋葉 けんや政策・活動レポート

秋葉けんやサポーターズ事務所  
自由民主党宮城県衆議院比例区第一支部  
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477

Fax 022(375)0057

購読料 年額6,000円

編集 集 (株)アクトジャパン

## 待ったなしの地方分権改革～来春の法案提出を目指して～

8月の内閣改造に伴い、総務大臣政務官を辞任しました。今度は新たに党の外交政策の責任を担う外務部会の部長代理に就任しました。期待していたポストではありませんが、私の国会議員になって以来の議員外交の積み重ねが評価されたものと受け止めてしっかり取り組んで参ります。

それにしてもちょうど1年間に渡って、大臣政務官として増田大臣を支えながら総務省の仕事に携えたことは貴重な経験でした。とりわけ若手の職員とは、ざっくばらんに本音で議論し合える信頼関係が構築できたものと自負しています。

主に公務員制度改革や独立行政法人改革、行政評価や年金の第三者評価委員会、統計関連の仕事を中心に精力的にこなしてきました。また、直接の担当ではありませんでしたが、地方分権改革や地上デジタル放送の推進をはじめとする情報通信技術(ICT)の進展にも積極的に関わってきました。他にも消防庁を所管しているのも総務省であり、宮城北部地震の際には、増田大臣とともに現地入りし、被害の実態を踏まえて、交付税の前倒し措置や局激指定などについて、迅速かつ確に即応できたものと思います。

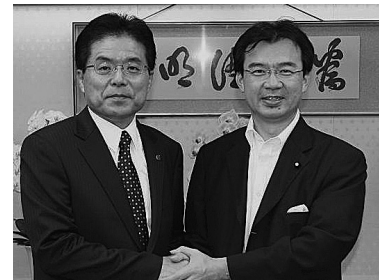
このように総務省の所管領域は実に広範囲ですが、なかでもこれから益々重要になってくるのは、何といても地方分権改革です。今夏、地方分権改革推進委員会の第一次勧告を受けて、政府の地方分権改革推進本部は「地方分権改革推進要綱」を決定しました。

今回の分権委の取り組みは、地方分権一括法を施行した2000年の第一期改革に続く第二期と位置づけています。国が地方自治体に業務を代行させる「機関委任事務」の廃止が第一期の目玉だったのに対して、第二期では、国から地方への権限や税財源の移譲が焦点になっています。

第一次勧告の最大の特徴は、国の役割を徹底的に見直し、地方に任せる方がふさわしい業務を、徹底的に移譲させたことです。ポイントは3つ。①河川や道路、農地転用の権限移譲が明記されたことです。さらに社会福祉施設の設置基準も全国一律でしたが、各自治体の条例に委ねるよう求めました。②補助金で作った施設は10年経てば用途変更が出来るとしたことです。これで施設の有効利用への道が開かれます。③今まで分権というと国から県への移譲が主でしたが、今回は県から市町村に移す権限(64法律の359の事務)を明示し、基礎自治体である市町村を地方分権の主役に躍りださせることにしました。

全体的に「検討」が多いとも批判されていますが、分権改革によって何がどう変わるのか、国民生活のメリットが具体的に見えるようなツメの作業がこれから重要になってきます。宮城県は、村井知事と県幹部による「地方分権・道州制推進本部」を先月末にスタートさせ、道州政府に必要な権限や財源、国や市町村との役割分担などについて“宮城発”の提言をまとめていくこととしており、まさに時宜を得た取り組みだと思えます。

地方の生の声や思いを遺憾なく取り込んで、来春の通常国会には新分権一括法案を提出する予定です。地方議員経験者の国会議員として、族議員の抵抗を撥ね退けて、しっかりと成果を出して参りますので、皆さんも関心を持って応援していただければ幸いです。



自民党政調外務部会長代理  
衆議院議員

秋葉賢也

## 自民党青年局海外研修レポート!~in韓国(サムソン電子視察・脱北者との意見交換会)

自民党青年部・青年局幹部の海外研修が韓国で行われ、「フォーチュン・グローバル500」では電機・電子部品メーカーで、今や世界2位にランクづけされているサムソン電子の本社視察を行うとともに、脱北者及び拉北者(韓国人拉致被害者)との意見交換を行って参りました。

I. サムソン電子社は、ソウル特別市内にあります。今回のサムソン電子視察では、1980年代初めに半導体事業への本格的参入を果たし、90年代後半から急速な発展を遂げた「サムソン」の経営戦略について広報担当者から説明を受けると共に、液晶パネルを使ったデジタルテレビ等のサムソン・ブランドの製品を見学致しました。1990年代後半から、独自のブランド化に成功し海外展開を果たしたサムソン電子。今回の視察では、「アナログからデジタルへの転換」や「ウォン安」といった環境変化に的確に対応し、「事業の選択・集中」や「デジタル時代に対応したデザイン重視、Samsung ブランドの構築」などを次々に実践していったサムソンの見事な経営戦略を直に学び、感じることができました。



サムソン電子本社の正面玄関前にて記念撮影



サムソン本社内のサムソン製品の展示場にて、最新のテレビについて説明を受ける秋葉代議士

II. 拉致問題への解決策・対応を再検討するために、脱北者と拉北者(韓国拉致被害者)と意見交換を行いました。日本政府が認定している拉致被害者は17名で、そのうちまだ12名の方の帰国が実現しておりません。現在まで、12名のうち、8名が死亡、4名の入国が確認できない、との立場をとり続ける北朝鮮。日本政府は、一貫して、①すべての拉致被害者の帰国、②真相究明、③被害者の引渡し等を要求しています。

今回の意見交換会では、北朝鮮での厳しい処遇等ご自身の辛い経験を踏まえながら、脱北者及び拉北者の方々から、「日本人の拉致問題の解決には圧力を加え続けることが大事である」という意見を伺いました。新たに就任した自民党政務調査会外務部会長代理として、拉致問題の早期解決の実現に向け、全力で取組んで参ります(脱北者、拉北者の方のお話を真剣に聞く秋葉代議士)。



## 日韓関係について考えてみましょう!



### (最近の日韓関係)

大韓民国では、昨年12月に大統領選が行われ李明博(イ・ミョンハク)候補が当選し、今年2月の李大統領の就任式には、招請された福田総理が訪韓し、李大統領との間で日韓首脳会議が開催され、両首脳は、「日韓新時代(日韓関係をこれまでにない近いものとするとともに、日韓両国が協力して国際社会に貢献する日韓関係の新しい時代)」を拓くことの重要性で一致し、「シャトル首脳外交」を実施することに合意しました。

### (日韓交流)

2007年の日韓間往来した人数は、訪日韓国人数(約260万人)、訪韓日本人数(約224万人)で合計約484万人に達しており、現在、短期滞在査免措置を実施しています。また、99年より導入された日韓ワーキング・ホリデー制度の参加者の上限が現行の3600人から、09年には倍増の7200人に、12年には1万人に拡大することで両国間の合意が成立しています。文化面では、韓国ドラマ「冬のソナタ」放映から日本社会に韓国ブームを巻き起こし、現在も韓国のドラマや映画が紹介され「韓流」が定着しています。他方、韓国では日本の漫画・小説等の人気が高く「日流」、06年には韓国の文学作品市場における日本小説シェアは31%、韓国の漫画市場における日本漫画のシェアは60~70%にも達しています。

日韓間の経済交流においても、両国間の貿易は着実な拡大を続けており、07年の貿易総額814億ドルに達しました(前年比4.8%増)。今年7月14日、文科省の中学校学習指導要領解説において地理的分野で(竹島)が初めて記述されたことで、韓国政府が強く抗議し是正措置をとるよう求める声明を日本政府に出しました。しかし、21世紀の両国の発展にとってある問題に対する認識の相違はあっても両国の友好関係を促進することが重要であり、議員外交を通じ、両国の友好関係の促進・強化に取組んで参ります。



# 秋葉総務大臣政務官・最終レポート!

## 地方の活性化に向けて!

### ～全国都道府県議会議長定例総会が開催されました～



都道府県会館で開催された「全国都道府県議会議長定例総会」に、岩城光英内閣官房副長官、増田寛也総務大臣とともに出席致しました。将来のわが国の発展にとって、地方の活性化は必要不可欠です。総務省では、地方の活性化を進めるために、「定住自立圏構想」をはじめとした各種の施策を実施する一方で、21年度の特別交付税をめぐり、財務省への要求を強めて参ります。

# 海上自衛隊の展示訓練を視察!

8月7日、海上自衛隊の展示訓練が仙台塩釜港中野埠頭で行われました。



今回の訓練では、実際に護衛艦「はるさめ」に乗艦し、護衛艦内での海上自衛隊職員の皆さんの活動状況を視察すると共に、潜水艦潜水上浮航行やSH-60J・P-3Cの展示飛行等、海上自衛隊が行っている数々の訓練の様子を拝見させて頂き、有事に備えた海上自衛隊の組織力強化の重要性を改めて感じました

## 秋葉総務大臣政務官「内閣総理大臣と都道府県議会議長」へ出席



総理官邸で開催された「内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会」に、総務大臣政務官として出席致しました。この懇談会は、内閣総理大臣と住民代表である議会の議長との意見交換会を通じて、地方行政の推進を図る目的で昭和59年3月から開催されています、今回で23回目となる懇談会では、福田総理や増田総務大臣のご挨拶、各議長からの発言を踏まえた福田総理からのご発言のほか、内閣総理大臣、内閣官

房長官・副長官、総務副大臣・大臣政務官を囲んだ記念写真の撮影も行われました(官邸正面2階の階段にて)



(護衛艦「はるさめ」に乗艦し職員の方々と懇談する秋葉代議士。)

## 秋葉総務大臣政務官、お疲れ様でした!



福田内閣改造に伴い、8月7日、大臣政務官の引継ぎが行われました。昨年8月の総務大臣政務官就任以来、総務省職員の皆さんの協力があったからこそ、大臣政務官として、総務省が抱える諸問題の解決に全力で取り組むことができました。挨拶では、職員の方々の協力に対して御礼を申し上げると

共に、今後も、総務省が抱える複雑な問題に全力で取り組んで頂くよう激励する秋葉前総務大臣政務官(講堂にて)



交代式終了後は、総務省内の大臣政務官室内で、引継ぎ式が行われました。後任の坂本哲志・新総務大臣政務官のご活躍を心よりお祈り申し上げます

# 命の大切さを伝える「幼児教育」を!

8月6日、日本仏教保育協会主催の「第30回全国仏教保育・宮城大会」が、仙台国際センターで開催されました。今年発生した秋葉原・八王子での無差別殺傷事件は、日本の未来を担う子供達に大切な心の教育の必要性を強く感じさせます。



## 畜産農家と消費者を結び 重要な拠点を見学!!



うなぎや牛肉の産地偽装事件など、食品への不信感が増大するようなニュースの多い昨今ですが、実際に、食品の加工やパッケージがどのように行われているのかを知るため、まずは仙台中央食肉卸売市場(株)を視察させて頂きました。

最新鋭の設備と機器の備わった施設で、徹底した衛生・品質管理のもと、解体、加工等が、丁寧に行なわれており、また、せり取引におけるオンラインシステムの導入等、正確で迅速な流通が図られています。国産牛のトレーサビリティシステム(※個体識別番号により生産履歴の情報を得られること)も確立されており、安心・安全な食肉の生産と流通を支える重要な拠点の、その現場を直接見せて頂き大変有意義な視察となりました。

(写真:実際に豚のせりが行われているせり場にて)

## 40% (全国) と 79% (宮城県) って? 食料自給率です!

9月と言えばそろそろ秋刀魚の季節!三陸産の秋刀魚を七輪でジュージュー焼く、あの香りが最高です。

「スローフード」はいまや耳慣れた言葉になりましたが、日本にも「身土不二」という言葉があるのをご存知ですか?これは「身体と土とは一つであり、身近なところで育ったものを食べ、生活する」ことを勧める仏教用語だそうです。

ところで、宮城県では「食材王国みやぎ地産地消の日」を毎月第1金土日に設定しています。もちろん、その期間に限らず、日頃から積極的に、海からと山からの多彩なみやぎの食材を食卓に取り入れたいものです。

日本の食料自給率は40%、我々の身体を支える大切なエネルギーの源をすでに6割も海外に依存しています。一方、宮城県の食料自給率は79%で

これは優秀なのですが、実は東北6県で見れば最下位。日常生活での食材の買い物や食事などで、「地産地消」をちょっと意識する、それが地域の元気に貢献することに繋がっているのです!



↓食材王国みやぎのHPはこちら↓  
<http://www.foodkingdom-miyagi.jp/index.shtml>

### 秋葉 賢也 (あきば けんや) プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、46才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 現在、自由民主党政務調査会外務部会長代理、衆議院議員(二期目)。
- 著書:「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味:野球、空手などスポーツ、音楽、映画。

## 秋葉けんやと語る会 ～ 国政報告会 ～

### 泉 区

日 時 9月21日(日) 19時～20時頃  
場 所 八乙女コミュニティセンター(会議室)  
(泉区七北田字田中1番2号)

### 宮城野区

日 時 9月23日(火) 19時～20時頃  
場 所 東部市民センター(会議室)  
(宮城野区平成1丁目3番27号)

### 若 林 区

日 時 9月26日(金) 19時～20時頃  
場 所 若林区中央市民センター(第2会議室)  
(若林区南小泉1丁目1番1号)

☆お近くの会場へお気軽にお越し下さい。

### ひしよひしよ話

7月、泉区の西部地区を対象とした国政報告会を根白石市民センターで開催させていただきました。報告会のご案内で地区を回るうちに、農業が抱える様々な問題に触れ、改めて現在の日本の農業を取巻く厳しい環境は一刻の猶予もないことを肌で感じました。

まず最も深刻なのは後継者・担い手不足です。農業経営だけでは十分な収益を得るのが難しくなっていることが原因のひとつです。農業機械は年に数日しか稼動しないのに高価で、故障すれば多額の修理代がかかります。肥料や燃料は高騰しているにも関わらず、米の価格は下落しています。また農業従事者は土日休日も働かねばならず、割の合わない仕事として若者から敬遠される傾向にあるようです。「農作業に出ている人の顔を見てほしい。若者を見かけることはまずないだろう。」支持者の方からこんなことを言われましたが、確かに、今回作業中の若者に出会う機会はありませんでした。

国政報告会で秋葉代議士は、「日本の農業は手厚く保護されていると思われがちですが、他の先進国で自給率100%を超える国に比べるとまだまだ国の投資額は少ないのです」と説明しております。国の政策としては補助など所得保障のように、ばら撒きの方法ではなく生産性を上げるため、投資的な補助が必要とのご意見もありました。

農業問題のみならず、様々な問題について秋葉代議士と地域の皆様のパイプ役となって頑張っておりますので、皆様が普段感じているご意見・ご不満など、遠慮なくぶつけて頂ければ幸いです。

岩沼 宏幸(泉区担当)

